

## 簿記 3 級仕訳問題 第 5 回

問. 次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	普 通 預 金	当 座 預 金	売 掛 金	受 取 手 形	
商 品	従 業 員 貸 付 金	前 払 金	有 価 証 券	車 両 運 搬 具	
支 払 手 形	買 掛 金	仮 受 金	未 払 金	貸 倒 引 当 金	
減 価 償 却 累 計 額	所 得 税 預 り 金	社 会 保 険 料 預 り 金	事 業 主 借	借 入 金	
売 上	仕 入	給 料	減 価 償 却 費	受 取 利 息	
商 品 販 売 益	有 価 証 券 利 息	受 取 配 当 金	車 両 売 却 損	貸 倒 損 失	
償 却 済 債 権 取 立 益	車 両 売 却 益				

1. 金沢商店に販売した商品の一部に品違いがあり、売上金額¥40,000分が返品されてきた。このうち¥20,000は金沢商店に対する売掛金残高と相殺し、残りは小切手を振り出して支払った。なお返品を受けた時点で金沢商店に対する売掛金残高は¥20,000であった。
2. 大阪商店は、営業用車両¥1,000,000（期首減価償却累計額¥300,000）を、当期末において静岡商店に¥360,000で売却した。売却代金は、大阪商店の小切手で受け取りただちに当座預金としている。なお、当期分の減価償却は一切計上しておらず、売却時に計上すること。大阪商店の会計期間は1年であり、車両については残存価額1割、耐用年数6年の定額法で前期まで間接法で正しく処理していた。
3. 沖縄商店は、本日従業員に対して給与総額¥2,300,000を支払った。このうち、源泉所得税の預り分¥120,000及び社会保険料の従業員負担分¥450,000を差し引いて普通預金口座より支払った。
4. 仙台商店は、上場企業である宮城株式会社の株式5,000株をかねてより取得していたが、本日配当金領収書¥50,000を受け取った。
5. 青森商店は、釧路物産株式会社の株式を1株あたり@500円で1,000株購入し、購入に際して手数料500円と一緒に当座預金より支払った。

簿記 3 級仕訳問題 第 5 回 答案用紙

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

簿記3級仕訳問題 第5回 解答・解説

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	売 上	40,000	売 掛 金 当 座 預 金	20,000 20,000
2	当 座 預 金 減価償却累計額 減 価 償 却 費 車 両 売 却 損	360,000 300,000 150,000 190,000	車 両 運 搬 具	1,000,000
3	給 料	2,300,000	普 通 預 金 所 得 税 預 り 金 社 会 保 険 料 預 り 金	1,730,000 120,000 450,000
4	現 金	50,000	受 取 配 当 金	50,000
5	有 価 証 券	500,500	当 座 預 金	500,500

1. 返品を受けた場合は、通常は売掛金と相殺するのであるが本問の場合は既に一部の入金を受けていることが読み取れる。この場合は相殺する売掛金は無いので留意する。
2. 大変難問ですが、固定資産の売却に際しては売却時の固定資産の正しい簿価を算出することが重要です。本問は、期首から売却時までの減価償却が反映されていませんので、それらを加味した帳簿価額 $\text{¥}1,000,000 - \text{¥}300,000 - \text{¥}150,000 = \text{¥}550,000$ を計算して、売却価格との差額を車両売却損益として認識します。
3. 本問に関して仕訳自体は難しくないが、普通預金口座より支払われていることに注意しなければならない。
4. 配当金領収書は現金と同等なので現金として取り扱います。株式の配当金は受取配当金で処理。有価証券利息と混同しないよう注意しましょう。
5. 平成 28 年以降の日商簿記検定 3 級については、売買目的有価証券勘定から有価証券勘定に科目変更となっている。本問は他社が発行した株式（有価証券）を購入した取引であるが、付随費用は有価証券勘定に含めること。